

高齢者・有病者歯科学特論 ・実習

《キーワード》 加齢変化、口腔機能低下症、摂食嚥下リハビリテーション

《担当者名》 飯田 貴俊

【概要】

わが国の高齢化率は27%を越えており、高齢者歯科学は今後ますます重要になってくると考えられる。本科目の目標は、高齢者の特徴、口腔機能低下症の診断、治療法及び摂食嚥下障害の診断、治療法についての知識を身につけ、高齢者の健康維持を目指して、口腔疾患や障害に対する適切な治療や予防法を実践するための基礎的な素養を習得することである。

【学修目標】

1. 顎口腔系の加齢変化について説明できる。
2. 口腔機能低下症の診断、治療法について説明できる。
3. 摂食嚥下障害の診断、治療法について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	顎口腔系の加齢変化	1) 生理的加齢変化 2) 病的加齢変化	飯田 貴俊
2	口腔機能低下症の診断	顎口腔機能検査	飯田 貴俊
3	口腔機能低下症の治療法	1) 補綴装置による治療 2) 筋機能訓練 3) 薬物療法	飯田 貴俊
4	摂食嚥下障害の診断	1) スクリーニング検査 2) 精密検査	飯田 貴俊
5	摂食嚥下障害の治療法	摂食嚥下リハビリテーション	飯田 貴俊

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による。

【評価方法】

口頭試問又は筆記試験

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【備考】

外来ならびに院外においての実習を含む。

【学修の準備】

提示した到達目標に合わせて、関連資料の収集・文献講読をしておくこと。